

大学生の就職内定率 過去最低の68.8%！ —前年同期比で4.3ポイント低下—

旺文社 教育情報センター 平成23年1月

文部科学省(以下、文科省)および厚生労働省(以下、厚労省)はこの程、大学・短大等の就職内定状況を発表した。それによると、今春卒業予定で就職を希望している大学生の就職内定率(以下、内定率)は、平成22年12月1日現在で68.8%(前年同期比4.3ポイント低下)。“大寒波”といわれた前年度を下回る非常に厳しい状況であることが判明した。

概況

● 前年の“過去最低の内定率”を、さらに下回る

大学生の内定率は、前年同期比で4.3ポイント下回り、10月1日調査(前年同期比4.9ポイント低下)に引きつづき、調査を開始した8年度以降過去最低となった。最低だった21年度の73.1%をさらに下回る非常に低い水準である。また、短大女子も内定率45.3%前年同期比-2.1ポイントで、同じく過去最低を記録した。

● 内 訳—女子苦戦、理系大きく低下—

大学生の内定率を男女別にみると、男子は70.1%(前年同期比-2.9ポイント)、女子は67.4%(同-5.8ポイント)と女子の下げ幅が大きい。特に私立大女子は63.9%(同-5.1ポイント)で、大学の中では最も低い内定率となった。文理別では、文系が68.3%(同-3.7ポイント)に対し理系は71.3%(同-7.3ポイント)で、“理系が大きく低下”した。設置者別では、国公立大が76.7%(同-4.0ポイント)、私立大が66.3%(同-4.2ポイント)。

地域別の内定率では、北海道・東北地区を除いた全ての地区で低下しており、中部地区61.7%(同-8.0ポイント)が最も低く、下げ幅も最も大きく低下した。また、関東地区72.1%(同-4.3ポイント)が最も高い結果となった。

文科省と厚労省が調査した12月1日現在の大学生の就職内定率は、10月1日調査に引きつづき過去最低となり、新卒予定者の就職環境は、前年にも増して非常に厳しい結果となった。

このような状況を踏まえ、厚労省は文科省との連携により、“卒業前の集中支援”による就職支援の強化として「卒業までに1人でも多くの未内定者の就職を決定するため、①卒業後3年以内の既卒者を採用した事業主への奨励金の対象者を平成22年度卒業予定の未内定者まで拡充、未内定者の採用機会を増やす(平成23年2月1日より、今年度限りの特例処置)。②ジョブサポーターが、未内定者に対し、個別に求人情報の提供などを行う。③大学等に配置したキャリアカウンセラーと新卒応援ハローワークのジョブサポーターの連携を進める。④大都市圏での土曜日の特別就職相談、未内定者の保護者に対する新卒応援ハローワークの利用推奨の働きかけなどを行う。⑤中小・中堅企業を中心とした就職面接会(平成23年1月18日～3月末までに、大学生向け135回(昨年88回))を開催する。」と緊急の対策を発表した。就職状況は未曾有の厳しさで、今後の動向に引きつづき注意していきたい。

<文科省・厚労省の調査概要>

○調査依頼先

設置者・地域の別等を考慮し、文科省・厚労省において抽出。大学 62 校（国立 21 校、公立 3 校、私立 38 校）、短大 20 校、高等専門学校 10 校、専修学校 20 校、合計 112 校。

○調査対象人員

大学・短大・高等専門学校……計 5,690 人、専修学校……560 人、計 6,250 人

○調査方法・内容

各大学等において、所定の調査対象学生を抽出した後、電話・面接等の方法により、性別、就職希望の有無、内定状況につき調査を実施。

○調査時期

平成 22 年 10 月 1 日、12 月 1 日、23 年 2 月 1 日、4 月 1 日の 4 回実施

平成 22 年度

大学・短大・高等専門学校卒業予定者の就職内定状況調査（平成 22 年 12 月 1 日現在）

*調査対象＝大学 62 校、短大 20 校、高等専門学校 10 校の計 92 校

*就職内定率＝就職希望者に対する現時点での内定者の割合。

*前年度就職率＝平成 22 年 4 月 1 日現在調査の前年度卒業学生の就職率。

*カッコ内は前年度同期調査からの変動値（ポイント：▲は低下）。

[全 体]

区 分	就職希望率	就職内定率	前年度就職率
大 学	72.7% (▲1.1)	68.8% (▲4.3)	91.8%
国公立	52.9% (▲3.4)	76.7% (▲4.0)	94.5%
私 立	82.6% (0.2)	66.3% (▲4.2)	90.8%
短 期 大 学	79.4% (0.4)	45.3% (▲2.1)	88.4%
高等専門学校	56.5% (0.5)	94.7% (▲2.2)	99.5%
合 計	72.2% (▲0.8)	67.9% (▲4.0)	91.9%

[男 子]

区 分	就職希望率	就職内定率	前年度就職率
大 学	67.3% (▲1.3)	70.1% (▲2.9)	92.0%
国公立	45.8% (▲2.5)	75.4% (▲1.3)	94.1%
私 立	78.9% (▲0.6)	68.4% (▲3.4)	91.4%
高等専門学校	56.5% (0.5)	94.7% (▲2.2)	99.5%
合 計	66.0% (▲1.0)	72.7% (▲2.8)	92.9%

[女 子]

区 分	就職希望率	就職内定率	前年度就職率
大 学	80.3% (▲0.6)	67.4% (▲5.8)	91.5%
国公立	64.2% (▲4.8)	78.1% (▲7.0)	94.9%
私 立	87.4% (1.2)	63.9% (▲5.1)	90.2%
短期大学	79.4% (0.4)	45.3% (▲2.1)	88.4%
合 計	80.1% (▲0.4)	62.8% (▲5.2)	90.9%

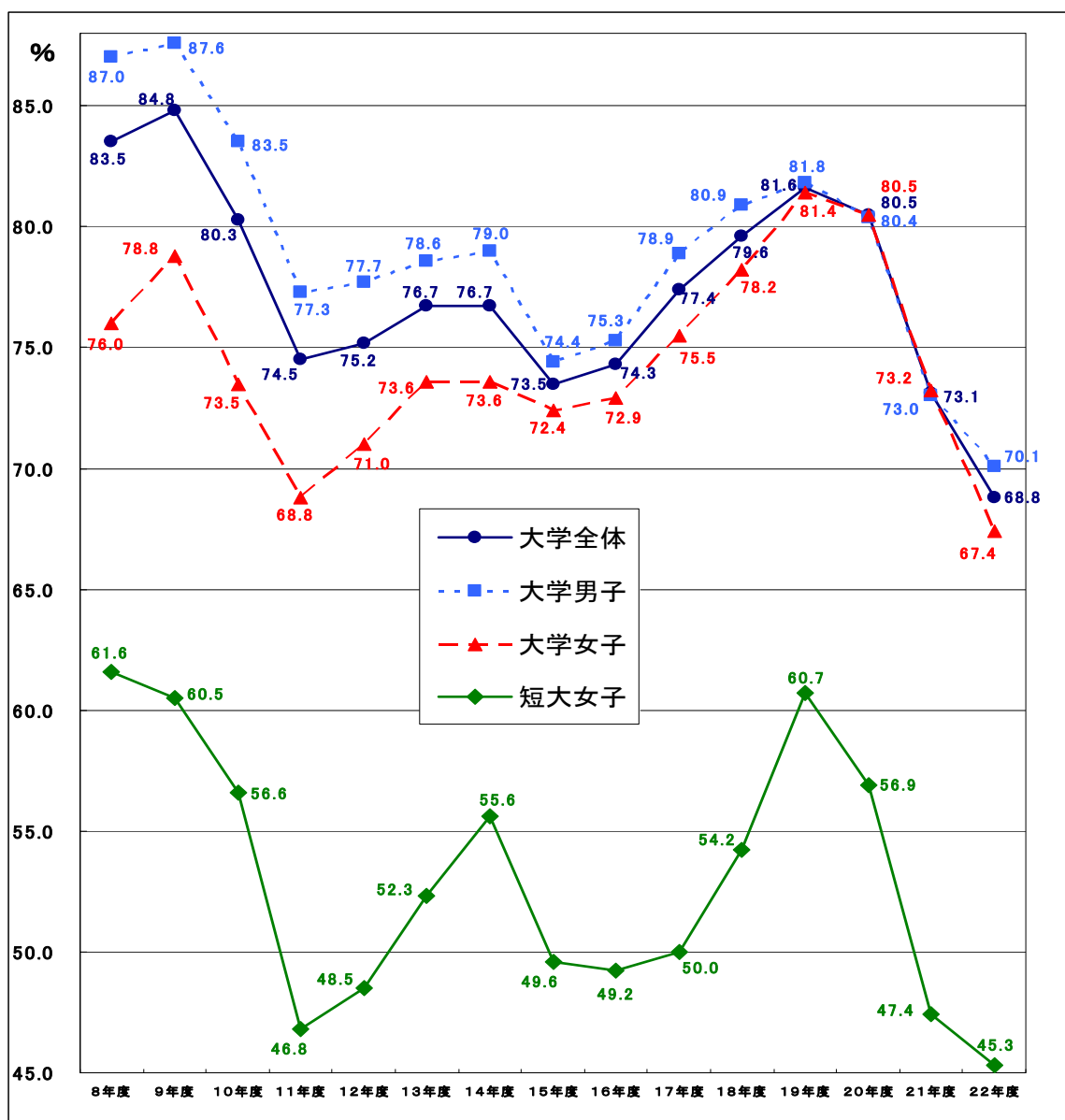
[大学：文理別就職内定率]

区分	文系	理系
大学	68.3% (▲3.7)	71.3% (▲7.3)
国公立	77.2% (▲2.6)	75.6% (▲6.9)
私立	66.1% (▲3.8)	67.8% (▲7.1)

[大学：地域別就職内定状況]

地域	就職内定率	地域	就職内定率
北海道・東北	69.9% (0.4)	近畿	71.0% (▲4.1)
関東	72.1% (▲4.3)	中国・四国	64.7% (▲2.7)
中部	61.7% (▲8.0)	九州	63.1% (▲6.5)

◆ 大学・短大卒業予定者の就職内定率（平成22年12月1日現在）の推移◆（図1）



※平成8年度から、文部科学省・厚生労働省調査を実施。